



3月7日、令和6年度卒業証書授与式が挙行されました。小学部7名、中学部12名、高等部16名の計35名の卒業生が、次のステージへと飛び立ちました。

練習を重ねる中で、日に日に表情がきりりと引き締まり、堂々と振る舞えるようになりました。本番では緊張の中にも誇りを持って証書を受け取り、保護者や来賓の前を歩いていく姿に、胸が熱くなりました。マイクには聞こえませんが、壇上で「ありがとうございます」と言ってくれる子どもたちもいました。

長い時間の式は少し我慢もしなければならず、ハードルが高いことは事実ですが、それでもそれぞれの学部の集大成として、区切りとなる機会なのではないかと思えます。式を終えた後ほっとした顔で集合写真に収まる姿は充実感でいっぱいのように見えました。こうして一つ一つ階段をのぼっていく子どもたち、一人一人の未来に幸多からんことを祈ります。



各学部では、少し前に卒業生を送る会が行われました。卒業生の堂々たる姿、パワーを感じる一方で、卒業生を慕いながら喜んでもらおうとする在校生の心遣いも感じました。一緒に歌って踊って盛り上がる場面もあれば、抱き合っただけ涙ぐみ別れを惜しむ姿も。「ゆり支援は任せた!」という卒業生の声を受け、別れはさみしいけれど、これからは引き継いだ自分たちがやらねば!という在校生の覚悟も垣間見える心温まる送る会でした。

また2月には新年度の新しい児童会・生徒会の役員も決まりました。演説



でも、「安心できる楽しい学校を作りたい」という力強い意気込みがたくさん聞かれました。生徒総会でも早速積極的に意見を出すなど、前向きな空気が流れています。先輩から引き継いだゆりの素晴らしい伝統のバトンを受け継ぎ、これから子どもたち自身でどんな学校をつくっていくのか、今から楽しみです。未来に向かってみんなで力を合わせ、ゆり旋風を巻き起こしましょう!

R7.3月 校長 近藤千晴

※ホームページ内「ゆり支援トピックス」の「ゆりの風」にも児童生徒の様子が掲載されています。ぜひそちらもご覧ください。